

ス ポ ト ピ



磐田市に本拠地を置く静岡 SSU ボニータは、日本における女子サッカーの全国リーグ『2022 プレナスなでしこリーグ』で2部初優勝、今季の1部昇格を決めました。

磐田市長を表敬訪問した小川貴史監督は「1部昇格は大きな目標だったのでホッとしています。これからもやっ

てきた事を大きく変えずに頑張りたいです」と話す、塩澤優選手は「目標は1部での上位進出ですが、まずは目の前の試合の勝利を目指します」と話してくれました。

プレナスなでしこリーグ1部の3月開幕に向けて、選手たちはまもなく始動します。初めて戦う1部リーグでの静岡 SSU ボニータの活躍を、市民みんなで応援しましょう！試合日程などは SNS をチェック！



(中央から右へ)小川監督、塩澤選手、三輪選手

静岡 SSU ボニータの最新情報はこちら！



Instagram



Twitter



LINE



Facebook

大河ドラマ「どうする家康」の放送が始まりました。徳川家康公が青年期を過ごした遠州地域がどのように表現されるのか、楽しみにしている方も多いと思います。

本市においても家康公関連の史跡が注目される絶好の機会ととらえています。本市と家康公はゆかりが深く、市内の地名も歴史を辿る手掛かりになっています。例えば、「城之崎」は城山球場から城山中学校一帯が未完の城跡だと言われている、家康公が武田軍を迎え撃つために城を整備しようとして試みた跡も残っています。「御殿」は、家康公が見付・中泉支配の拠点として「中泉御殿」を造り、東海道往來時の宿泊施設として利用したほか、軍略の拠点としていたと言われています。

す。そのほかにも「社山城跡」「一言坂の戦い」「冷酒清兵衛」など、戦跡や伝説は数多く残されています。ちなみに、昨年10月に「世界かんがい施設遺産」に登録された「寺谷用水」は、400年以上に渡る天竜川左岸地域の利水治水両面への貢献が評価されたものですが、これも家康公の命を受けた平野重定公が「農民福利の基盤は水利の安定にあり」の考えのもと整備したのが発端であり、家康公の業績が今に生きているとも言えます。

ぜひ皆さんも、ゆかりの地に足を運び、歴史に思いを馳せてみてください。「どうする家康」を契機に、歴史や文化に興味を持つ市民が増え、市外からも多くの方々が来訪してくれることを期待しています。



「家康公と磐田市」

市長 草地博昭

大クスの下から

第20回